

# 「まちなか再生事業」と「地方創生事業」がはじまります

津別町の人口は、平成27年3月末で5167人と昭和36年3月末ピークの1万6842人に比べ約3割にまで減少が進んでいます。人口減少と少子高齢化に対し、その進行を緩やかにし、暮らす町民が心豊かに、安全・安心な生活を営むことができる地域社会を実現するため、中心市街地の急速な衰退に伴う市街地機能の低下に対処する「まちなか再生事業」と、町域全体を対象とし地域活力の創生に取り組み「地方創生事業」を推進します。

## まちなか再生事業とは？

17年間のスポーツ合宿実績のある筑波大学との共同研究も取り入れて計画

中心市街地は、人口減少が顕著であり、多くの商店が閉店し空き店舗や空き家が点在しています。また、公共施設の老



旧津別保育所



まちなか再生協議会の様子

朽化も相まってまちなか形成に向けた再整備が急務となっています。

これらの課題に対して、まちなか再生協議会の委員の方々を主体として、筑波大学、津別高校などの協力を得て町の現状を検証し、先進的な事例を研究し、津別という地域の特性に合った再生事業を検討していく事業がまちなか再生事業で、3年間を予定しています。

## 今年度のまちなか再生事業

今年度は、1年間を通じて、「ふるさと財団」からの助成金を受け、まちなか再生協議会の勉強会、シンポジウム、ワークショップなどを実施し、まちなかの現状の検証や再生の方向性等を検討する期間となり、右下囲みのような事業計画が組まれています。

原則として一般公開ですので、多くの

## 地方創生事業とは？

町民の方々の来場をお願い致します。また、町民皆さんの意見を伺う機会も設けますので、よろしくお願い致します。

## まち・ひと・しごと創生

政府は、日本の急速な少子高齢化の進展に対し、日本全体、特に地方の人口減少に歯止めをかけ、東京圏への人口の過度の集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保し、将来にわたって活力ある日本社会を維

## 地方創生人口減少問題アンケートを実施します！

津別町の地方創生の取組みとして、町民の方500名を無作為に抽出した、人口減少問題に関するアンケートを6月初旬より行います。皆様からの津別町に対する感想やご意見を参考にし、津別町の地方創生、まちなか再生事業の取組みを進めたいと考えております。回答の一つひとつが津別町の地方創生に繋がってまいりますので、ご協力をお願いいたします。



今回のアンケートを担当します高橋です！

大通の街並み



## まちなか再生事業「キックオフ・シンポジウム」

日時 平成27年6月12日(金) 午後6時30分～午後9時  
場所 津別町中央公民館 講堂 (北海道網走郡津別町字豊永5番地1)  
内容

- 開会挨拶 津別町長 佐藤多一
- 趣旨説明 津別まちなか再生事業プロデューサー (筑波大学教授) 大澤義明
- 基調講演 「逆境を強みに」 鹿島アントラーズ代表取締役社長 (筑波大学客員教授) 井畑 滋
- 講演 「ローカルバスタイム (地域の娯楽) とその可能性」 東京国際映画祭パートナーシップグループマネージャー (筑波大学非常勤講師) 小西弘樹
- 講演 「北海道における道路と地域の活性化」 北海道開発局建設部道路計画課長 和泉晶裕
- ワークショップ発表会 津別町まちなか再生協議会+筑波大学学生隊
- ワークショップ質疑
- シンポジウム総括 地域総合整備 (ふるさと) 財団開発振興部長 土居俊彦
- 挨拶 筑波大学ラグビー部長 (筑波大学教授) 中川 昭
- 主催 津別町・国立大学法人筑波大学
- 後援 国土交通省北海道開発局、一般財団法人地域総合整備財団

問い合わせ先 住民企画課 企画グループ ☎ 76 - 2151 (内線 240)

まちなか再生事業HP  
(津別町 HP 内) QR コード



facebook  
facebook - QR コード



持していくことを考えています。そのため、国民ひとり一人が夢や希望を持ち、潤いのある豊かな生活を安心して営むことができる地域社会をつくること、個性豊かで多様な人材を確保し、魅力ある多様な就業の機会を創り出すこと等を目指して昨年度「まち・ひと・しごと

創生」総合戦略を策定しました。各自治体においては、今年度中に「地方版の総合戦略」を策定することとされています。津別町の人口推移見込み(人口ピジョン)に対して、人口減少の速度をよりゆるやかにする各種施策を検討していきます(平成31年度までの向こう5年間)。

- 住民協議会勉強会 会場：さんさん館 各回18：30～20：30 (一般公開)
    - 4月17日(金)「テーマ」津別まちなか再生事業の意義
    - 5月22日(金)「テーマ」空き家、移住定住、既存施設を利用した交流拠点
    - 7月17日(金)「テーマ」コンパクトシティ、小さな拠点
    - 9月25日(金)「テーマ」公共交通、生活の場、シーニックバイウェイ
    - 10月16日(金)「テーマ」集合住宅、土地利用、市民協働 (未定)
    - 11月13日(金)「テーマ」歴史文化、まちなみ景観 (未定)
    - 12月4日(金)「テーマ」オープンデータ、IT化 (未定)
    - 2月5日(金)「テーマ」防犯、公園 (未定)
  - キックオフ・シンポジウム 次ページをご参照ください。
  - 筑波大学津別駐在事務所 (役場内特設)
    - 8/10～8/31、8/18～9/9 筑波大大学院生各1名づつ滞在
    - 調査、検証、ワークショップ
  - ゼミ合宿実証実験
    - 筑波大学8/21～31の間の1週間 小樽商科大学 (未定)
  - ワークショップ(若い世代) (高大連携事業)
    - 8/21～31の間の土日を含む4日間
    - 「ファシリテーター」筑波大学学生10名
  - 【演題】若い世代による津別まちづくりプラン
  - 【内容】ワークショップ
  - 津別高校生、筑波大学生、協議会委員
  - ふるさと財団による現地会議
    - 10月9日(金)、10日(土)
    - ふるさと財団アドバイザリーボード、筑波大学、協議会委員、地域住民
  - 筑波大学学園祭シンポジウムへの津別高校生派遣
    - 茨城県：つくば市 11月7日(土)～9日(月)
  - まちづくりシンポジウム 1月9日(土) 会場：中央公民館
  - ふるさと財団実績報告会 2月 初年度協議会総括 3月
- ※ふるさと財団からの助成金を受けて本年度は実施しています。